

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項

計画コード	22068	事業名	亀山7座トレイル整備・活用推進事業			
事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()					
施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予算科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の活性化			款	07:商工費
	施策の方向	01:地域資源を生かした観光政策の推進			項	01:商工費
	重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目	03:観光費
事業期間	R 1 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	産業環境部
課	商工観光課 観光・地域ブランドG

② 事業概要 (P)

事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
コロナ禍において、登山やキャンプをはじめとするアウトドア等の自然観光の需要が高まる中、社会の変化に適応した観光政策として、「亀山版グリーンツーリズム」を推進し、亀山7座を中心とした自然観光による知名度向上を図っていく必要がある。	市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活性化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。	登山道の維持・修繕等を行うとともに、亀山7座を中心にトレッキングイベント等を開催する。また、自主運営クラブチーム等の結成支援を行い、人材育成を図る。

③ 事業の実施状況 (P・D)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
事業計画	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制確立	○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援					
活動実績 (計画通り実施できたか)	亀山7座トレイルを10回開催し、98名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により36回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。	亀山7座トレイルを9回開催し、118名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により21回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。 また、亀山7座を完登した方に完登バッジの交付を開始した。	亀山7座トレイルを7回開催し、108名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により21回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。 また、亀山7座を完登した123人に完登バッジの交付を行った。	亀山7座トレイルを10回開催し、99名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により6回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。 また、亀山7座を完登した79人に完登バッジの交付を行った。					
計画額	事業費	3,600千円	3,500千円	3,600千円	3,380千円	3,600千円	3,097千円	2,700千円	2,585千円
	国・県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源	3,600千円	3,500千円	3,600千円	3,380千円	3,600千円	3,097千円	2,700千円	2,585千円
決算額	事業費	3,117千円	3,238千円	2,887千円	2,519千円				
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
	その他	0千円	0千円	0千円	0千円				
	一般財源	3,117千円	3,238千円	2,887千円	2,519千円				
①期間内計画額(R4-7)		13,500千円	②期間外計画額(R8-)	-	①+②総計画額	13,500千円			

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	2,585千円
次年度への繰越額	0千円

⑤ 成果（Ｃ）	判定	事業実施により得られた成果（誰に（何に）対してどのような効果があったか）	事業の対象	事業の目的
	B トレッキングイベントの開催は、参加者のニーズ等を勘案し12回計画したものの、募集数120人に対し176人の応募がある程の根強い人気のイベントとして、自然観光を通じた本市の魅力向上につなげることができた。また、完登バッチを交付したことで登山者のモチベーションアップにもつなげることができた。一方、登山ポストにおける登山届出者数は令和6年度より減少しているが、登山アプリの利用者が増加しているためであり、不測の事態における対策として活用されている。 まずまず成果を得た	（再掲）	市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活発化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。

⑦事業の展開（Ａ）	方向性	
	継続（拡大）	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する（した）もの	令和9年度以降で対応するもの
	引き続き、（公財）亀山市地域社会振興会と連携し、トレッキングイベントを開催することで、本市の知名度向上を図る。また、体験アクティビティなど他の観光も取り入れながら取り組んでいく。	亀山7座のイベントと石水溪キャンプ場での体験型アクティビティを組み合わせるなど、地域振興と活性化につながるような亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。

1次評価者	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドGL 堀切 雅代
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 原 千里